

## 田中防衛大臣が 山口県知事・岩国市長と会談 愛宕山用地の売買契約締結へ



平成24年3月22日、田中大臣が防衛省で二井知事、福田市長と会談しました。

田中大臣から米軍再編等に係る防衛省の見解について文書回答した内容を改めて説明し、二井知事と福田市長は、国からの回答は県・市の意向に沿った内容であるとして、愛宕山用地売却の留保を解除することを表明しました。翌23日、辰己中国四国防衛局長と嶋岡山口県住宅供給公社理事長が不動産売買契約を締結しました。

## ■ ■ 神風防衛大臣政務官等が ■ ■ ■ ■ 山口県知事・岩国市長を訪問 ■ ■

神風政務官等は山口県知事、岩国市長・市議会議長等に対し、在沖縄海兵隊を岩国飛行場へ追加的に移転することはないことが確認されたことなどについて説明しました。

平成24年3月15日、神風防衛大臣政務官が、加藤外務大臣政務官とともに山口県庁と岩国市役所を訪問し、二井知事、福田市長等と会談しました。

防衛省からは、山内地方協力局長と辰己中国四国防衛局長が同行し、在沖縄海兵隊を追加的に移転することはないことや、防衛省としても米軍再編に対する山口県及び岩国市の考えについては十分に理解しており、これ以上の負担増をお願いする考えはないことを説明しました。



二井山口県知事と会談する神風防衛大臣政務官(右手前)



福田岩国市長、松本岩国市議会議長等との会談の様子

その上で、神風政務官は、二井知事や福田市長の御理解を得て、平成23年度中に愛宕山用地を買い取りたいと考えていることについて説明しました。

年 月 日	これまでの経緯
2月13日	・二井知事と福田市長が、田中大臣等を訪問し、在沖縄海兵隊の岩国基地への移転案に反対を表明。岩国にこれ以上の負担がないということが明確になるまで、愛宕山用地の売買契約を留保せざるを得ないとの方針を示した。
3月15日	・神風政務官等は二井知事、福田市長・松本市議会議長等を訪問し、在沖海兵隊を岩国飛行場へ追加的に移転することはないことが確認されたことなどについて説明した。
3月22日	・田中大臣は、二井知事と福田市長から3月16日付け文書により照会があった米軍再編等に係る防衛省の見解について文書回答するとともに、両氏と面会した。二井知事と福田市長は、国からの回答は県・市の意向に沿った内容であるとして、愛宕山用地売却の留保を解除する旨の意向を示した。 ・これを受け、辰己中国四国防衛局長は、嶋岡山口県住宅供給公社理事長に対して不動産売買契約の締結を依頼
3月23日・28日	・23日、不動産売買契約を締結 ・28日、登記完了証を受領

# 愛宕山用地の概要



## 現地の状況



## ■■ IWAKUNI日米交流合同コンサート ■■

中国四国防衛局は2月18日、岩国市民会館大ホールにおいて「IWAKUNI日米交流合同コンサート」を開催しました。

米海兵隊岩国航空基地と周辺の住民の方々がお互いをより一層知って頂き、相互理解を深めるため、平成23年1月に初めて開催し今回が2回目となります。

開会に当たって、主催者の辰己中国四国防衛局長は、「各学校の生徒たちは一生懸命練習を重ね、真剣なまなざしと練習に打ち込む姿に日米の明るい将来を感じることができ、皆様も友好的な日米関係がずっと続いていくことを確信して頂きたい。本日はステージと客席が一体で盛り上がりましょう。」と挨拶しました。



辰己局長の開会挨拶

### 第1部

岩国市立灘中学校の箏曲合奏



福田市長

共催を頂いた、岩国市長と米軍岩国基地司令官からもご挨拶を頂きました。



スチュアート大佐



M. C. ペリー・エレメンタリースクールの合唱

### 第1部フィナーレ

川下小学校とM. C. ペリー・エレメンタリースクールの「川下小ソーラン」踊り



岩国市立川下小学校の器楽演奏

# ■ IWAKUNI日米交流合同コンサート ■



## 第2部

大竹市立小方中学校の吹奏楽



## グランドフィナーレ



M. C. ペリー・ハイスクールの  
ドラム、コーラス、バンド

岩国市立岩国中学校の吹奏楽



## ■■ 徳島駐屯地開設行事 ■■

本年3月26日、第14施設中隊(高知県香南市)が、新設された徳島駐屯地(徳島県阿南市)に移駐し、第14施設隊として編成されました。

3月31日には、徳島駐屯地において、渡辺防衛副大臣出席のもと多くの地元関係者の皆様が登場し開設式典が行われ、渡辺副大臣からの訓示に続き、来賓の飯泉徳島県知事、岩浅阿南市長など多くの方から祝辞をいただきました。

同駐屯地司令 津田2等陸佐は、いかなる任務に対しても即応できる強靱な部隊を錬成することや一日も早く地域の一員となり愛される駐屯地を目指すことなど決意を述べました。

### 3月31日 徳島駐屯地での開設式典



渡辺 周 防衛副大臣



徳島駐屯地司令 津田充寿2等陸佐



### 3月27日 徳島県主催記念式典



飯泉嘉門 徳島県知事



### 3月27日 阿南市主催記念式典



岩浅嘉仁 阿南市長



## ■ ■ 徳島駐屯地紹介 ■ ■

徳島駐屯地では、業務隊などを含め約200人の隊員が常駐しており、災害時には復旧などの土木工事を行う施設部隊の存在は地域に対する安心感を与えるものと期待されています。

今回の駐屯地開設にあたり、中国四国防衛局は、徳島県阿南市那賀川町に徳島駐屯地を、また駐屯地より南西約2kmの位置に隊員とその家族用の宿舎を整備しました。

駐屯地の敷地面積は約11ヘクタール、主要施設は庁舎、隊舎、整備工場(倉庫)などです。

平成20年3月に用地取得後、翌21年度より駐屯地の造成工事を開始し、本年3月に全ての施設が完成しました。

同駐屯地が新設されたことにより、平成22年3月に県内初の陸自部隊として海上自衛隊徳島航空基地内に新編された陸自北徳島分屯地(徳島県坂野郡松茂町)は、今後、徳島駐屯地の一部となります。

【駐屯地全景】(H24.3月撮影)



【隊舎(RC造3階建、延面積約2,990㎡)】



【庁舎(RC造4階建、延面積約3,440㎡)】



【整備工場(倉庫)(S造1階建/RC造2階建、延面積約3,480㎡)】



【倉庫】

【整備工場】

【阿南宿舎(RC造5階建×2棟、計50戸)】



南棟

北棟



## ■ ■ 美保基地に関する意見交換会を開催 ■ ■

3月22日、松江市八束支所において、第1回美保基地に係る意見交換会を開催しました。この意見交換会は、美保基地における次期輸送機C-2への機種変更等に係る協議に際し、地元自治体等から要望があったものです。

八束地区と美保基地に関係する諸課題について意見交換や情報交換するなどして相互理解を深めることにより、美保基地の円滑な運用及び八束地区の地域振興に資することを

目的として、当局及び航空自衛隊美保基地、島根県、松江市、八束地区自治会連合会が一堂に会し開催したものです。

意見交換会では、現行の飛行ルートや高度、地域振興策の実施、特定防衛施設関連市町村への指定などについて意見や要望が交わされました。



意見交換会の様子

## ■ ■ XC-2(次期輸送機)物料投下試験を実施 ■ ■

美保基地において、2月15日から3月8日にかけて、開発中のXC-2による物料投下試験を計8回実施しました。

この試験では、XC-2が飛行中に後部胴体にある貨物扉を開け、物資、器材等を空中投下できることを確認しました。

天候不良等により当初予定していた試験日時を変更しつつも、所要の目的を達成することが出来ました。



試験月日	回数
2月15日(水)	1
16日(木)	1
20日(月)	2
21日(火)	1
22日(水)	1
3月 7日(水)	1
8日(木)	1
計 7日	8回



## ■■ 防衛施設審議会開催 ■■

中国四国防衛局は、2月22日、平成23年度中国四国防衛施設地方審議会をKKRホテル広島において開催しました。

本会の議事については、辰己局長から「自衛隊の国際協力開始20周年にあたって」をテーマとして防衛省がこれまでに実施してきた国際平和協力活動の変遷や現状、今後の課題等について説明を行い、続いて藤代企画部長及び山沢調達部次長から当局における主要事案について説明を行いました。これに対し、委員からは国際平和協力活動における課題等について、貴重な意見が出されるなど活発な質疑応答が行われ、有意義な審議会となりました。

午後からは海上自衛隊岩国基地を訪れ、東日本大震災における海上自衛隊第111航空隊の活動状況について実体験に基づく説明を受けた後、ヘリコプターに搭乗し、上空から基地の視察を行いました。



辰己局長から説明



神津会長から質問

## ■■ 岡山県防災会議出席 ■■



本会議議長の石井正弘岡山県知事



意見発表する辰己局長

中国四国防衛局では、防衛省・自衛隊の災害対策に関する措置を円滑かつ効果的に実施するために、地方公共団体及び地域住民の理解及び協力の確保に係る事務を行っています。

防衛省・自衛隊が、大規模な災害が発生した際に円滑かつ効果的な対応を行うためには、平素からの地方自治体等との緊密な連携が不可欠です。

3月28日、辰己局長は、岡山市内で開催された岡山県防災会議に出席し、自衛隊の活動拠点(集結地、ヘリポート)の確保等について意見発表を行いました。

災害時に自衛隊が活動するためには、現地の指揮所や宿泊、駐車、資材の集積などのための集結地や物資輸送等のためのヘリポートが必要となってきます。これらの活動拠点等を予め取り決め、地域防災計画に記載のうえ、広く住民に周知しておくことが、より迅速な対応に繋がるものと考えています。

## ■ ■ 太陽光発電システム整備 ■ ■

岡山県奈義町は、同町文化センター(老人福祉施設、コミュニティ供用施設、集会施設)の維持管理費の負担軽減及び施設利用率向上を図り、緊急時の避難所としての機能を確保する目的で太陽光発電システム(約59kw)を設置しました。

この整備は、防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第8条(民生安定施設の助成)の規定に基づき、約3千5百万円の防衛省の補助金が使われています。



太陽光発電システム(約59kw)

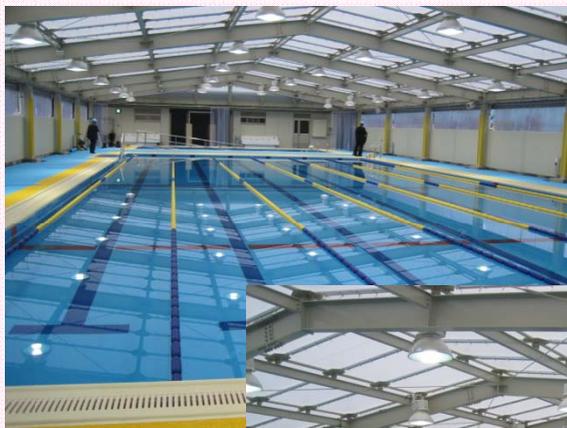


## ■ ■ 小方小・中学校プール完成 ■ ■

広島県大竹市は、平成25年度の4月に開校予定の小方小・中学校のプール施設を平成23年度末に建設しました。

このプールは、当該学校の開校に合わせて使用されますが、生徒たちが使用していないときは、一般の利用も計画されています。

この事業は、いわゆる在日米軍再編交付金事業として、約1億4千2百万円の交付金が使われています。



### 【施設概要】

鉄筋コンクリート造平屋建 885.10㎡ (テント屋根式屋内プール)  
25m×6コース(水面積285㎡、水深1.0~1.2m)  
サブプール(水面積57㎡、水深0.7m)

## 海上自衛隊幹部候補生学校卒業式

3月20日、広島県江田島市に所在する海上自衛隊幹部候補生学校で第62期一般、第64期飛行幹部候補生254人の課程卒業式が行われました。

式典には、渡辺防衛副大臣をはじめ、多数の来賓、ご家族が出席され、卒業証書を手にした卒業生を伝統の「帽振れ」で見送りました。

卒業生たちは、「重責を自覚し技能の修練に努めます。」と宣誓し、練習航海に向け出港しました。



## 人事異動

本年4月の人事異動により新しく中国四国防衛局の幹部ポストに就いた職員を紹介します。

### 会計監査官



下西 弘晃

局内の内部監査や会計検査院が実施する会計実地検査の窓口として、地方自治体や関係機関の皆様の御協力を賜りながら懸命に頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。できるだけ早く広島環境に溶け込みたいと思っています。

### 総務課長



坂川健太郎

総務課長として着任しました。当防衛局での勤務は初めてですが、早く土地勘を身につけ、地域の皆様との出会い、豊かな自然・文化とのふれあいを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。

### 調達部次長



北浦 達也

平成20年4月から2年間、設備課長として滑走路移設事業に携わり、今度は建築、土木を含めた米軍再編事業の推進と自衛隊装備品の調達業務にあたると共に、地元の皆様の念願であった民間空港再開工事が円滑に進むよう、再編工事担当の立場から協力してまいりたいと思います。

### 岩国防衛事務所長



橋本 和人

防衛庁官房総務課(平成2~3年)では、岩国基地等関連の要望等の窓口業務に携わりました。歴代所長のように防衛施設行政の経験はありませんが、地元の声お聞きし、密接な関係を醸成できるよう所員とともに努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

## ■ ■ 岩国錦帯橋空港PRイベント ■ ■



3月26・27日、米海兵隊岩国飛行場に開港を予定している愛称「岩国錦帯橋空港」のPRイベントが、羽田空港で行われました。

このイベントには、福田良彦 岩国市長と井原健太郎 柳井市長が、山口県観光イメージキャラクター「ちよるる」とともに、地元の特産品や観光スポットなどを紹介し「魅力ある岩国にどうぞお越しください。」とアピールしました。



## ■ ■ 錦帯橋ロードレース大会 ■ ■



3月4日、第6回錦帯橋ロードレース大会が開催されました。大会には、全国各地から四千人を超える参加者があり、当局からも辰己局長をキャプテンとする13名の有志が参加しました。

参加者は、雨中、寒冷の中、精一杯力走し、当局からの参加者は、それぞれがハーフ、10km、5kmのコースを全員が完走しました。



写真は、錦帯橋(岩国市)と満開の桜です。